

ACTIVITY REPORT



活動報告書

チャレンジ！スポーツボランティア

2017/9/30 ～ 2017/11/19

特定非営利活動法人やまとスポーツマネジメント

【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】



<事業概要>

- 事業名 : チャレンジ！スポーツボランティア
- 目的 : 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツボランティアが注目されている。比較的年齢層の高い国民の関心が高いのが実情で、若年層に対する浸透度を高めることがねらい。スポーツボランティアの知識を高めるとともに、実際にスポーツボランティアを体験することで理解を深め、学生のうちに学校外の社会との関わりについての選択肢を増やしてもらうこともひとつの目的である。
- 主催 : 特定非営利活動法人やまとスポーツマネジメント
- 後援 : 大和市、大和市教育委員会、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団
- 協力 : FC町田ゼルビア、SC相模原
- 助成金 : 独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」



<事業詳細>

[DAY 1]

- 日時 / 2017年9月30日(土) 午前9時15分～午前11時45分
- 場所 / 大和スポーツセンター体育会館 2階 会議室
- 内容 / 講義①「スポーツボランティアってなに？」
大東文化大学 スポーツ・健康科学部 准教授 工藤保子 氏
- 講義②「莉央オリンピックのボランティアを経験して」
リオオリンピック語学ボランティア 出樋直子 氏
- 講義③「スポーツボランティアの現場」
SC相模原 運営担当 板垣卓磨 氏
- グループワーキング「スポーツボランティアに必要なことは？」

[DAY 2]

- 下記(1)～(3)のうち、参加者はいずれかひとつのスポーツボランティアを選択し体験
- (1) SC相模原(J3)ホームゲーム(ブラウブリッツ秋田戦)ボランティア
- (2) FC町田ゼルビア(J2)ホームゲーム(ツエーゲン金沢戦)ボランティア
- (3) よこはまマラソン2017給水ボランティア

[DAY 3]

- 日時 / 2017年11月5日(土) 午前9時15分～午前11時45分
- 場所 / 大和スポーツセンター体育会館 2階 会議室
- 内容 / 参加者によるボランティア体験報告
コーディネーター 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 准教授 工藤保子 氏

【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】



<告知方法>

◆ ポスター・チラシ

- ・制作数 ポスター500枚、チラシ4000枚
- ・配布先 大和市内公共施設（スポーツ施設、学習センター施設、市役所掲示板）
大和市内中学校9校
神奈川県内公立高等学校145校（大和市内4校含む）
神奈川県内私立高等学校81校（大和市内2校含む）
神奈川県内短大・大学82校
東京都内短大・大学8校（ボランティアセンター設置校のみ）
神奈川県内専門学校等105校
神奈川県内ボランティアセンター（社会福祉協議会等）25施設・団体

チャレンジ / スポーツボランティア
CHALLENGE SPORTS VOLUNTEER
中学生・高校生・専門学校生
短大生・大学生対象
2017.9.30 START
PROGRAM
1. スポーツボランティア講習会
オリンピックボランティア経験者の講演など
2. スポーツボランティア体験 ※いずれかひとつ
よこはまマラソン、SC相模原(J3)公式戦、
FC町田ゼルビア(U2)公式戦
3. スポーツボランティア体験発表会
※原則、3日間すべてにご参加いただきます
参加費無料 詳細は裏面
みんなが、主役。
スポーツボランティア
主催 / 特定非営利活動法人やまとスポーツマネジメント
後援 / 大和市、大和市教育委員会、
公益財団法人大和スポーツ・よか・みどり財団
協力 / FC町田ゼルビア、SC相模原

CHALLENGE SPORTS VOLUNTEER
PROGRAM 1 【講座】9月30日(土) 9:15~12:00
場所 / 大和スポーツセンター体育会館2階会議室【大和市上草柳1-1-1】
講義①「スポーツボランティアってなに?」大東文化大学 スポーツ健康科学部 准教授 工藤保子 氏
講義②「リオオリンピックのボランティアを経験して」出穂直子 氏(リオオリンピックボランティア経験者)
講義③「スポーツボランティアの現場」SC相模原 運営担当 板垣卓磨 氏
グループワーク「スポーツボランティアに必要なことは?」
PROGRAM 2 【スポーツボランティア体験】※どれかひとつを選択
SCS SC相模原(J3)ホームゲーム(ブラウブリッツ秋田戦)ボランティア
日時 / 2017年10月14日(土) 9:00~17:00(予定) **10名**
場所 / 相模原ギオンスタジアム【相模原市南区下溝4169】
ZELVIA FC町田ゼルビア(U2)ホームゲーム(ツエーゲン金沢戦)ボランティア
日時 / 2017年10月15日(日) 10:00~19:00(予定) **10名**
場所 / 町田市立陸上競技場【町田市野津田町2035】
YOKOHAMA MARATHON よこはまマラソン2017給水ボランティア
日時 / 2017年10月29日(日) 7:00~15:00(予定) **15名**
場所 / 未定(よこはまマラソンコース上給水ポイント)
※原則、現地集合現地解散となります。現地までの交通費は、各自でご負担ください。
※それぞれ定員があるため、第1希望ではなく第2希望となることがあります。予めご了承ください。
PROGRAM 3 【体験報告会】11月5日(日) 9:30~12:00
場所 / 大和スポーツセンター体育会館2階会議室【大和市上草柳1-1-1】
①参加者による体験報告 ②「総括」大東文化大学 スポーツ健康科学部 准教授 工藤保子 氏
＜参加対象者＞ 中学生・高校生・専門学校生・短大生・大学生または15歳~22歳の方
※中学生の参加については、保護者の同意またはご一筆の参加が必要です
＜参加条件＞ 原則、プログラム1~3すべてに参加できる方、各会場まで自力で来られる方。
＜募集人数＞ 35名(先着順)
＜申込方法＞ 「メール」または「申込フォーム」からお申し込みください。
【メールの場合】①参加者のお名前②ふりがな③生年月日④学校名・学年、または職業⑤住所
⑥連絡先電話番号のメールアドレス⑦ボランティア体験希望(上記3つから第1希望と第2希望) ⑧参加者が中学生の場合は、保護者のお名前と連絡先電話番号
以上を記載の上、info@yamatosports.com にメールで送信。
【フォームの場合】下記URLにアクセスし、必要事項を入力。QRコードは右記。
https://goo.gl/i5Gsxw QRコード

◆ リベルタへの広告掲載

【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】



- ◆ 当クラブフェイスブック
- ◆ 当クラブに関係する大学生を中心とした声掛け

<参加申込者>

	学 年		住 所	体験希望	ボランティア 経験	情報源
1	中学2年生	女	大和市	よこはまマラソン	ない	SNS
2	高校1年生	女	藤沢市	よこはまマラソン	ない	大和市民活動センター
3	高校2年生	女	海老名市	よこはまマラソン	ない	SNS
4	大学1年生	男	横浜市	よこはまマラソン	ない	学校ポスター・チラシ
5	大学1年生	女	浦安市	よこはまマラソン	ない	学校ポスター・チラシ
6	大学2年生	女	藤沢市	よこはまマラソン	ない	学校ポスター・チラシ
7	大学3年生	男	厚木市	SC 相模原	ない	学校ポスター・チラシ
8	大学3年生	男	川崎市	よこはまマラソン	ない	知人の紹介
9	大学3年生	男	相模原市	よこはまマラソン	ない	知人の紹介
10	大学4年生	男	大和市	よこはまマラソン	ない	リベルタ
11	大学4年生	男	相模原市	よこはまマラソン	ない	知人の紹介

[男 7 名、女 4 名] [中学生 1 名、高校生 2 名、大学生 8 名] [大和市 2 名、大和市外 9 名]

【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】

< 詳細報告 >

[DAY 1]

日 時 / 2017年9月30日 (土) 9時15分～12時

場 所 / 大和スポーツセンター体育会館 2階 会議室

参加人数 / 申込者11名中、10名参加 (1名当日欠席連絡あり)

内 容 / 講義①「スポーツボランティアってなに？」

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 准教授 工藤保子 氏

講義②「莉央オリンピックのボランティアを経験して」

リオオリンピック語学ボランティア 出樋直子 氏

講義③「スポーツボランティアの現場」

SC相模原 運営担当 板垣卓磨 氏

グループワーキング「スポーツボランティアに必要なことは？」



【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】



< DAY 2 >

SC相模原のボランティアを希望した学生が1日目を欠席し、その後も不参加との連絡があったため、参加者10名全員が「よこはまマラソン」の体験となる。

ボランティア用の帽子・ウェア・IDストラップ・ボランティアハンドブックなどが事前に配布され、あとは当日を迎える状態であった。

台風22号の接近で、開催が危ぶまれ、参加者全員が開催を願っていた前日16時ごろ、大会組織委員会より、大会の中止が発表になった。当初計画をしていたボランティア体験としての「よこはまマラソン」における給水ボランティアの実施ができなくなった。



大会の中止を知らせる大会ホームページ

実際のスポーツボランティア体験ができなくなるということは、本事業の目的達成が半減されるため、急遽、スポーツボランティア体験ができる現場を探したところ、DAY1で講師を務めていただいた板垣卓磨氏が所属するSC相模原において、11月19日（日）のホームゲームにて、受け入れ可能との回答をもらう。

【チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書】

<DAY 3>

当初の予定では、スポーツボランティア体験を踏まえた体験談を参加者に発表してもらい、講師である工藤保子氏にアドバイスをもらう内容であったが、前述のとおり、よこはまマラソンの中止によりDAY 3までに体験ができなかった。そのため工藤氏に依頼し、座学・講義に内容を変更してもらう。

日 時 / 2017年11月5日(日) 10時～12時

場 所 / 大和スポーツセンター体育会館 2階 会議室

参加人数 / 申込者10名中、6名参加(4名事前に欠席連絡あり)

内 容 / 「スポーツイベントのボランティア運営」

「スポーツボランティアクイズ」

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 准教授 工藤保子 氏



【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】

< DAY 2 (特別篇) >

「よこはまマラソン」の中止を受けて、急遽、スポーツボランティア体験の場として、11月19日(日)のSC相模原ホームゲームのボランティアを設定。しかし、急なスケジュールリングのため、参加可能者は3名のみであったが、実施を決定。

日 時 / 2017年11月19日(日) 8時30分～17時

場 所 / ギオンスタジアム

参加人数 / 申込者3名中、2名参加(1名体調不良のため当日欠席)

内 容 / 会場設営、入場ゲートでのもぎり・配布、関係者入口における対応、会場撤収などを体験。



【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】



<アンケート等集計結果>

◆ 9月30日（土）終了後、参加者へのアンケート（10名参加で、10名回収）

Q 1. 性別

A 1. 男性6名、女性4名

Q 2. 学年

A 2. 中学生1名、高校生2名、大学生7名

Q 3. 「スポーツボランティア」という言葉を聞いたことがあるか

A 3. ある4名、ない6名

Q 4. Q 3で「ある」と答えた方、いつ・どこで聞いたか

- A 4.
- ・リオオリンピックのニュースで
 - ・東京オリンピックの開催が決まったあと
 - ・大学2年のころボランティア学習論という講義で聞いた
 - ・大学の講義で聞いた

Q 5. 参加の動機

- A 5.
- ・オリンピックでボランティアとして関わりたいから（大学生・女性）
 - ・大学の先輩に誘われて（大学生・男性）
 - ・スポーツを支えることに興味があり、意識が高いボランティアに参加してみようと思った（大学生・男性）
 - ・学校以外の人と交流することで視野を広げたり、責任感を持てるようになりたいから。英語が苦手なので、スポーツボランティアなどの話や体験を通じて、必要性を感じて勉強のモチベーションにしたいから。（高校生・女性）
 - ・前々からやってみたいと思っていましたが、忙しく学生生活のうちにぜひ参加してみたいと思い参加しました（大学生・男性）
 - ・なんとなく（中学生・女性）
 - ・学校の講義中に紹介があり、参加してみようと思いました（大学生・女性）
 - ・ボランティアに興味があったから（大学生・男性）
 - ・これからの国際大会に向けて、知識が必要だと感じたから（高校生・女性）
 - ・スポーツの指導等の活動に役立つと感じたから（大学生・男性）

Q 6. 印象に残った話は？

- A 6.
- ・リオオリンピックの話（中学生・女性）
 - ・アルバイトは給料をひとつの目当てと考え実施する人が多々いると思います。当然、給料に対しての責任が生じますが、ボランティアが事業に対する“想い”はそれと同等か時にはそれ以上のものがあると思います。この“想い”がSC相模原のボランティアチームの方々からチームになる理由だと感じました。（大学生・男性）
 - ・リオオリンピックでの通訳を経験したという話（高校生・女性）
 - ・SC相模原の運営担当である板垣さんの講義が、チーム・お客さん・スタッフ・ボランティアで一団となって行動し、共に喜んだり悲しんだりすることがとても楽しそうだった。

【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】

- ・アルバイトとボランティアの違いの話。スポーツボランティアの話を知っていて、今まで関わってきた方の中に、多くのボランティアの方がいたのだとわかったこと。(大学生・女性)
- ・SC相模原がJ2になるためのライセンスがないということに驚きました。優勝して実力があっても上がれないとなると非常に悔しい思いがあるのと同時に、市としても盛り上げ認めてほしいと思いました。(大学生・男性)
- ・リオオリンピックのホームステイ先を探すときの情報発信力と、人の和のすごさ(高校生・女性)
- ・アルバイトとボランティアの違いの話、リオでの経験談。(大学生・男性)
- ・SC相模原さんのアルバイトとボランティアの違いの話。(大学生・男性)
- ・リオオリンピックで生で試合を見て感動したという話を聞いて、自分もそんな経験をしたかったと思った。また工藤さんの話を聞いて、東京オリンピックまでにたくさん経験してボランティアとして選ばれるようになりたいと思った。(大学生・女性)

◆ 11月19日(日) SC相模原ホームゲームのボランティアを終えての感想(2名)

[大学生・男性]

今回ボランティアを体験してみて、本当に好きなことでなければ続けられないと感じました。ボランティアはお金を貰えないのに、どうしてやるんだろうと思っていましたが、実際に体験してみて、辛いこともある中で、社会貢献や自分のため、誰かの支えになるといった強い想いをみんな抱いているからこそボランティアをしているのではないかと感じました。私自身も「これだ」と感じられるような好きなことをこれからの人生送っていきたいと思いました。

[高校生・女性]

J3の大会ボランティアをしてみて

- ・私は関係者受付を担当したのですが今回参加するまでそのような業務をボランティアがやるとは知りませんでした。
- ・ボランティアは私が思っている以上に多岐多様な役割があると知りました。
- ・これからもFC相模原のボランティアを続けて行きたいです。

<総括>

部活動や遊びに忙しい学生が、本当に参加してくれるのか不安であったが、なんとか10名の参加で事業を実施できたことに安堵した。参加した学生たちは、想像以上に意識が高く、学ぶ姿勢を終始見せてくれた。アンケートを見ると、SC相模原・板垣氏の話に共感した学生も多くいたようだが、「よこはまマラソン」を経験できれば、10名の参加者が“チーム”になれたのではないかと考えると、残念でならない。しかし、今回の事業をステップにして、次につなげようという意識・姿勢が学生たちに多く見られ、本事業の目的は十分に果たすことができたと感じる。彼ら彼女たちが、これからの日本のスポーツボランティアをリードしていくことになれば、とても嬉しいことであり、そうなることを願っている。(了)

【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】



<その他>

- ◆ 9月30日（土）の様子が、地域情報紙「タウンニュース大和版」に掲載

【 チャレンジ！スポーツボランティア 活動報告書 】



<決算報告>

収入		
子どもゆめ基金		
当クラブ負担金		
小 計		
支出		
謝金		
旅費		
雑役務費		
印刷製本費		
通信運搬費		
借料損料		
消耗品費		
保険加入費		
小 計		